

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2025年 第3週（1月13日～1月19日）

今週のコメント

～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 減少続く」

第3週の小児科定点・眼科定点疾患の報告数の総計は 1,439例であり、前週比9.8%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱・伝染性紅斑の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ4.59、1.05、0.98、0.23、0.17である。

感染性胃腸炎は前週比15%増の885例で、大阪市西部7.40、南河内6.88、中河内6.11、堺市5.47、北河内4.68であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は10%増の202例で、堺市1.58、北河内1.40、大阪市南部1.39である。

RSウイルス感染症は20%増の189例で、大阪市北部2.23、北河内1.64、泉州1.20であった。

流行性角結膜炎は54%減の12例で、大阪市西部1.00、中河内0.80、南河内0.75である。

咽頭結膜熱は27%減の33例で、中河内0.37、大阪市南部0.28、南河内0.25であった。

伝染性紅斑は32%増の33例で、豊能0.55、大阪市西部0.30、三島0.29である。

インフルエンザは53%減の3,564例で、定点あたり報告数は11.84であった。全ブロックで減少し、警報レベルである30を超えるブロックは無かった。定点あたり報告数は南河内16.17、大阪市西部14.93、大阪市北部14.63、堺市14.00、北河内12.93である。

新型コロナウイルス感染症は13%減の994例で、定点あたり報告数は3.30であった。北河内5.15、南河内4.71、堺市3.66、泉州3.42、中河内3.17である。

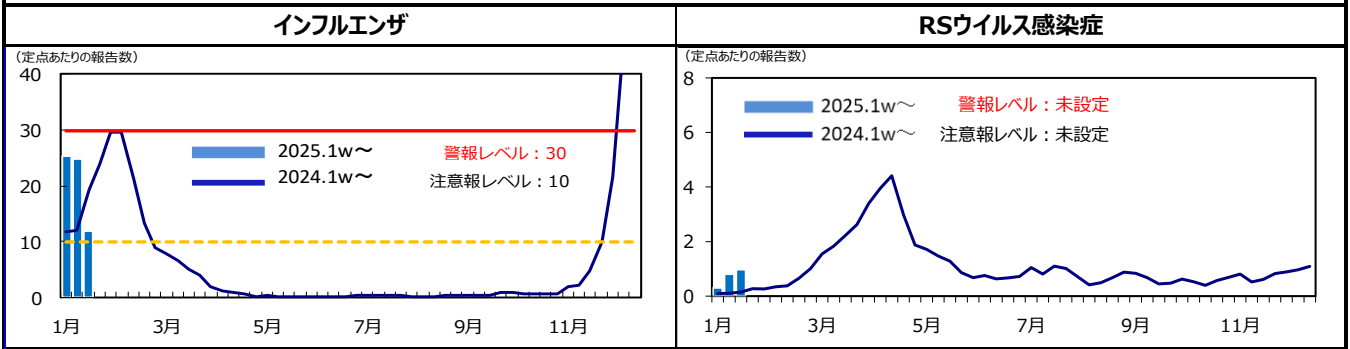


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2025年 第3週1月13日～1月19日）

第3週の順位	第2週の順位	感染症	2025年 第3週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2024年 第3週の 定点あたり 報告数	2025年第3週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.59	15%増	7.25	10-14歳_15%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.05	10%増	3.63	10-14歳_17%
3	3	RSウイルス感染症	0.98	20%増	0.15	1歳未満_34%
4	4	流行性角結膜炎	0.23	54%減	0.38	20歳以上_67%
5	5	咽頭結膜熱	0.17	27%減	0.60	1歳_27%
5	8	伝染性紅斑	0.17	32%増	0.00	4歳_18%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	11.84	53%減	19.23	20歳以上_34%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	3.30	13%減	7.96	10-19歳_12%

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

第3週のコメント

～梅毒～ 大阪府における2024年の梅毒累計報告数は速報値で1,940例であり、現行の集計方法で過去最高を記録した2023年の2,017例に次ぐ報告数となった。

全数把握感染症	
梅毒	
<p>全国の梅毒の年間報告数は、2021年7,978例、2022年13,221例と増加し、2023年は速報値で過去最高の14,906例を記録した。大阪府においても、2023年は2,017例で、現行の集計方法で過去最高の年間報告数であった。2024年は、2023年より報告数は減少したものの、速報値では全国で14,663例、大阪府で1,940例と、いずれも2023年に次いで過去2番目に多かった。梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。</p> <p>梅毒とは(国立感染症研究所) 梅毒 (大阪府感染症情報センター)</p>	<p style="text-align: center;">年別累積報告数 (大阪府)</p>

表2. 大阪府全数報告数 (2025年 第3週1月13日～1月19日)

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
4類感染症	レジオネラ症 (肺炎型)	3			2		1				8
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2			1					1	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3				1	2				11
	後天性免疫不全症候群	3					1			2	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1								6
	侵襲性肺炎球菌感染症	10	1		2		1		1	5	33
	梅毒	10			1		1			8	50
	百日咳	12			2		2		3	5	27
結核 (2024年11月分)	結核 新登録患者数：105名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 42名) (府内累積報告数 1,043名、内 肺・喀痰塗抹陽性 395名)										

(2025年1月21日 集計分)